

建築プレキャスト製品 (超高層RC建物)

技術紹介

2021.10.1

No.35

FUJIP.S TECHNICAL REPORT

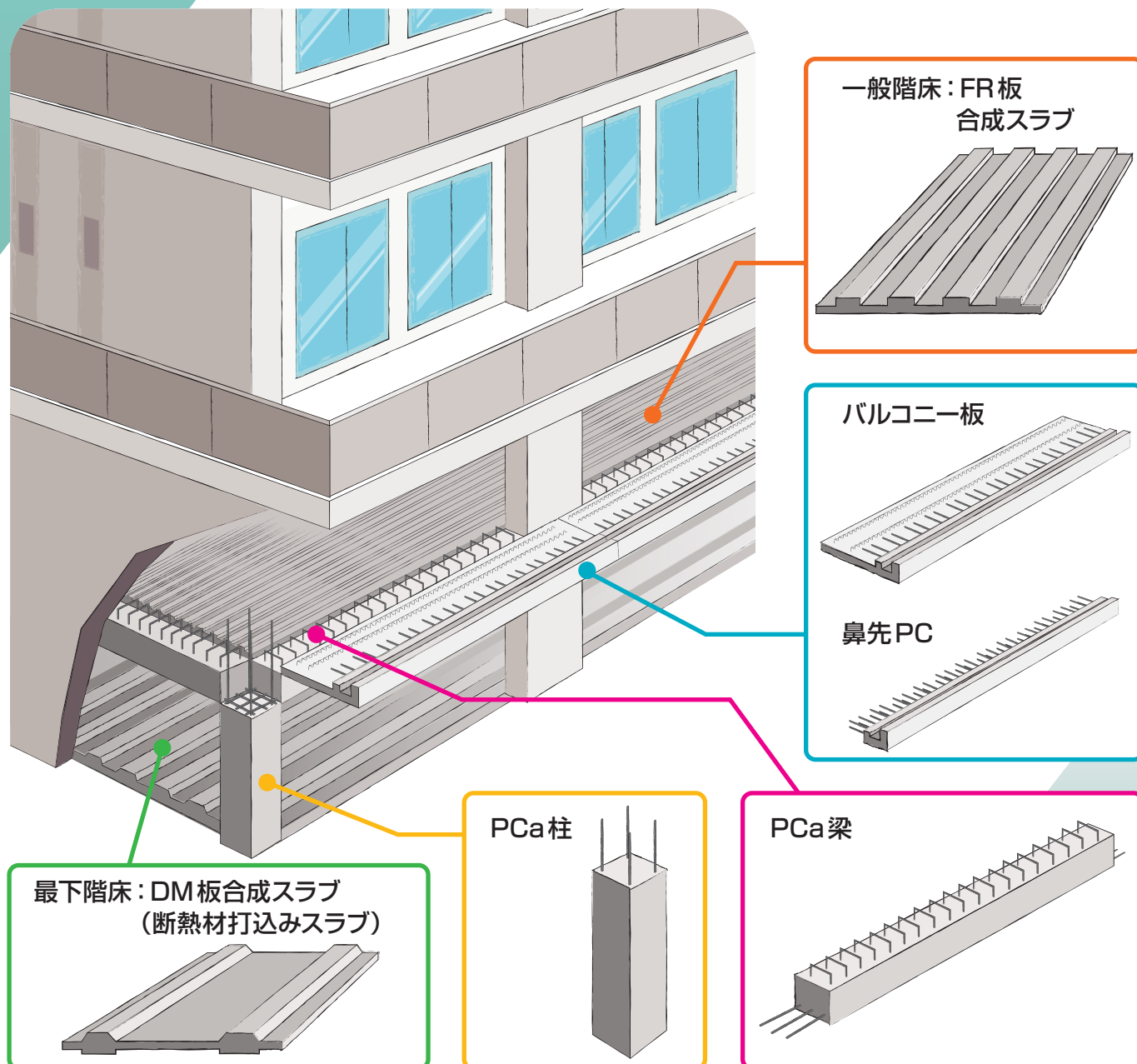
建築物のプレキャスト化

高層建物における部材(柱・梁・スラブ等)のプレキャスト化は、工場製作による部材の高品質化や工期短縮を目的として採用されてきましたが、近年では、近い将来現実となるであろう現場での労働力不足を解消するため、その需要は急速に高まりつつあります。

富士ピー・エスが提供する高強度コンクリートを使用した建築プレキャスト製品は、軸力が大きい超高層建物や倉庫、スタジアムなど様々な建物に採用されています。



建築プレキャスト製品ラインナップ



各製品紹介

FR板 (BCJ 認定-RC0151-10)

FR板は、逆T型をしたプレキャストコンクリート板で、リブ部に配置されたPC鋼材によりプレストレスが導入されています。FR板合成スラブは、FR板を梁に架け渡して敷設し、上端筋配置後、コンクリートを打設して一体化する合成スラブ工法です。

FR板は水回りなどの床段差に対応できるだけでなく、FR板合成スラブによって構築される小梁の無いフラットな空間は、計画における意匠や設備設計の自由度を高めます。



DM板 (BCJ 認定-RC0151-10)

※DM板はFuDM板の略称です。

DM板は工場であらかじめプレストレスを導入したプレテンション部材で、ピットを有する最下階床で使用することを前提に、①ノンサポート施工、②スリーブにフレキシブルに対応すべくリブ間隔を広く、③予め工場で断熱材を打ち込むという特長を有し、部材敷設後、配筋および現場打ちコンクリートを打設して合成スラブを構築します。コンクリート硬化後は、DM板上面に施された粗面により現場打ちコンクリートと一体となって荷重に抵抗します。DM板は工期短縮だけでなく、労務削減や工事の安全にも貢献します。



プレキャスト柱・梁

超高層建物の建設に必要不可欠なプレキャスト柱・梁は、(一社)プレハブ建築協会のPC部材品質認定を取得した工場で製造します。これまで蓄積したノウハウと、同協会が認定するPC部材製造管理技術者が管理することで高品質な製品を提供します。



バルコニー板、鼻先PC

工期短縮、施工効率化、意匠性の確保などを目的とした鼻先PCなどの二次部材のプレキャスト化は、現場労務不足も解消することが可能です。



製造工場

建築プレキャスト製品は全国6工場で製造、提供いたします。

(一社)プレハブ建築協会 認定取得工場

工場	所在地	認定区分
東北工場	福島県	N・H
いわき工場	福島県	R5 年度取得予定
関東工場	栃木県	R5 年度取得予定
滋賀工場	滋賀県	—
三重工場	三重県	N
九州小竹工場	福岡県	N・H



株式会社富士ピー・エス

<https://www.fujips.co.jp>

建築本部：03-5858-3164

関西支店：06-6397-3405

関東支店：03-5858-3164

九州支店：092-716-1120

